

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		併設の保育園や地元地域との交流は定着しつつあるが、さらなる交流機会を作っていきたい。	世代交流の機会を増やす。	○併設の保育園児とのふれあいを現状より増やし、いつでも様々な場面に行き来出来る状態を作っていく。 ○保育園行事をグループホームの行事に取り入れ計画実施する。	12ヶ月
2		これまでの防災訓練は、自施設内で完結する形になっており、地元消防や地域との連携を形成するに至っていない。	防災体勢の見直しを図る。	○地元消防署より防災体勢等に係る指導機会を設ける。 ○防災体勢及び訓練方法(地震を含む)について見直しを行い、併せて実地訓練も実施する。 ○運営推進会議にて情報交換を行う。	12ヶ月
3		利用者の方々の状態変化に即応した、事故の未然防止対策を検討したい。	転倒事故等の発生低減や未然防止を図る。	○事故防止に係る講習・研修を実施する。 ○利用者個別の状態評価を行い、事故防止のための対応について検討する。	12ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。